

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期にぎやかそ美波まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

徳島県海部郡美波町

3 地域再生計画の区域

徳島県海部郡美波町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1980年の11,866人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2024年には5,711人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2050年には総人口が2,626人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1980年の2,212人をピークに減少し、2020年には482人となる一方、老年人口（65歳以上）は1980年の2,112人から2020年には3,017人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も1980年の7,542人をピークに減少傾向にあり、2020年には2,668人となっている。

自然動態をみると、出生数は1960年の204人をピークに減少し、2020年には24人となっている。その一方で、死亡数は2020年には127人とほぼ横ばいに推移し、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は103人（自然減）となっている。

社会動態をみると、1975年（転入者582人、転出者771人）以降、2015年を除くすべての年度で、転出数が転入数を上回っており、「社会減」の状況にある。全国的な人口規模の縮小により、転入数・転出数が減少するなかで、2020年には42人（転入者159人、転出者201人）の社会減となり、転出数と転入数の差が収束している傾向見られるが、依然として社会減の傾向にあることは、本町の基幹産業である一次産業の衰退に伴い、雇用の機会が減少したことが大きな要因とな

っている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 みなみの魅力を活かした人の流れづくり
- ・基本目標 2 みなみの資源を活かした仕事づくり
- ・基本目標 3 みなみの未来を拓く子育て環境づくり
- ・基本目標 4 みなみの地域を支える人づくり
- ・基本目標 5 みなみの安全・安心な地域づくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	デュアルスクール受入数	3人/年	25人/5年	基本目標 1
イ	道の駅日和佐来場者数	149,475 人/年	160,000 人/年	基本目標 2
ウ	18歳以下のうみがめ博物館カレッタ来館者数	—	20,000人/年	基本目標 3
エ	各種委員会への女性委員の割合	1割以下	4割	基本目標 4
オ	フェーズフリーな高台の整備	未整備	整備	基本目標 5

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期にぎやかそ美波まち・ひと・しごと創生推進事業

ア みなみの魅力を活かした人の流れづくり事業

イ みなみの資源を活かした仕事づくり事業

ウ みなみの未来を拓く子育て環境づくり事業

エ みなみの地域を支える人づくり事業

オ みなみの安全・安心な地域づくり事業

② 事業の内容

ア みなみの魅力を活かした人の流れづくり事業

1. 定住・交流の場として選ばれるまちづくりを推進するために、移住・定住の促進、みなみの個性を活かしたまちづくりに取り組む。
2. 関係人口の拡大にを推進するために、地域資源を活用した来訪機会の創出・拡大、ゆかりのある人が美波町を応援できる仕組みづくりに取り組む。
3. 大学等との連携による多様な地域づくりを推進するために、大学等との多様な連携に取り組む。

【具体的な事業】

- ・移住コーディネーターの育成・活動支援
- ・新たな観光需要の取り込み
- ・地域の課題解決に向けた、多様な大学との連携・条件整備 等

イ みなみの資源を活かした仕事づくり事業

1. 美波の特性に応じた地域産業の育成・強化を推進するために、地域の課題解決に向けたサテライトオフィス企業等の誘致と連携強化、切れ目のない企業支援、生業としての農林水産業の確立に取り組む。

2. 美波ブランドの構築による高付加価値化を推進するために、美波ブランドの構築、みなみの6次産業化の推進に取り組む
3. 美波の活力ある産業を支える人・組織づくりを推進するために、次世代を担う若者・人材の育成、事業継続に向けた支援、地域が主体となった活動の支援に取り組む。

【具体的な事業】

- ・ 地域課題解決型サテライトオフィス企業との連携
- ・ 地域資源の循環、地産地消の推進
- ・ 道の駅日和佐の活用強化事業 等

ウ みなみの未来を拓く子育て環境づくり事業

1. 結婚・出産・子育てを応援するために、結婚を希望する人への支援、多様な子育て支援、若年層の町外流出防止に取り組む。
2. 美波の特性を活かした子育て環境の充実を推進するために、美波町の特性を活かした子育て環境の充実、姉妹都市との連携強化・充実に取り組む。
3. 仕事と子育てが両立できるまちづくりを推進するために、情報通信基盤を活かした新たな働き方の促進に取り組む。

【具体的な事業】

- ・ すくすく美波っこ事業
- ・ 地域資源を有効活用した子育て環境づくり
- ・ デュアルスクールの推進 等

エ みなみの地域を支える人づくり事業

1. 未来を拓く豊かな人づくりを推進するために、活躍する女性の育成、活動支援、元気な高齢者が活躍する「生涯現役社会」の実現、未来を創る人づくり、障がい者の活躍の場づくり、外国人も住みやすい多文化共生のまちづくり、ふるさと美波に対する誇りと愛着を育む事業を実施する。
2. 自治体機能の向上を推進するために、施策推進のための職員の育成、I T・I C T・A I等の最新技術の活用に取り組む。

【具体的な事業】

- ・各種委員会等への女性の参画の拡大
- ・地域資源や産業の魅力の紹介
- ・職員の資質向上 等

オ みなみの安全・安心な地域づくり事業

1. 災害に強いまちづくりを推進するために、災害に強い人・組織・まちづくり、空き家の活用等に取り組む。
2. 安心できる持続可能な地域づくりを推進するために、医療体制の強化、地域内外の交通ネットワークの充実、豊かな自然環境の保全と管理に取り組む。

【具体的な事業】

- ・フェーズフリーな日和佐地区の高台整備事業の推進
- ・空き家活用等推進事業
- ・新たな公共交通の確保に向けた検討 等

※ なお、詳細は“にぎやかそ”美波ふるさと創造戦略～共創よるまちづくり～のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

250,000 千円（2025 年度～2029 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎 12 月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後は速やかに本町公式W E Bサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2025 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日まで